令和4年度　社会福祉法人 協愛福祉会
施設自己評価表

（保育理念）
Happy+Natural
Happy+challenge

（保育目標）
げんきな子　やさしい子

A：よくできている　　B：わりとできている
C：一部改善が必要　　D：改善しなければならな

	内容	評価	現状・課題
保育目標について	(1)保育士一人一人が、協愛福祉会の保育理念、保育目標を理解している	B	園内研修や法人研修などで理念についての話を深めていっている。以前と比べると、子ども一人ひとりの言葉を拾い、保育につなげるために、どうすれば良いのかを職員間で話し合う姿がみられるようになった。
	(2)子ども一人一人の主体性を大切にした保育をしている	B	
	(3)すべての子どもについて一人一人の存在と、その人種を尊重している	B	
保育について	(1)保育計画に基づき、子ども一人一人の発達の姿や興味を把握して、年間計画、月のカリキュラム、週案を立てている	B	今年度からディリープログラムを変更し、職員にも周知したことで型にはまった保育時間ではなく、子どもの成長とともに変化していく保育環境や、保育時間になっていっているが、未満児では月齢幅が広い為、そのクラスの月齢のひくい子どもに合わせた保育になるのが課題
	(2)3歳未満児は、現在の姿を理解し、一人一人に保育計画を立てている	B	
	(3)素材・用具を適切に使用している	B	
	(4)環境の構成を意識した保育や過程を常に工夫している	B	
	(5)職員間で子どもへの理解を深め、お互いの考えを十分に理解したうえで、保育を行っている	C	
	(6)1日の流れ（デイリープログラム等）は現行でよい	B	
食育について	(1)食育の重要性を理解し、季節や年齢に合わせて食育計画を立ててい	B	栄養士と保育教諭が連携をし食育を進めている。また、栄養士もランチルームや保育室に子どもの食事の様子を見に来てくれる
	(2)栄養士、保育士が連携し、会議等で意見を交わしながらより良い給食になるよう努めている	B	
	(3)アレルギー疾患等の子どもに対し医師の指導の下、保護者との連携を図り適切な対応を行っている	A	
役割分担	(1)職員の仕事や役割が明確であり、それぞれの仕事を責任を持って行っている	B	各部門の委員会があり、そこから自分たちで発信があり、研修をするようになってきた。仕事の分担に平等になるようにする必要がある
役員構成	(2)危機管理意識を持ち、緊急時に対応できる体制が整えられている	B	
研修	(3)園内外の研修は計画を立て実行している	B	

		評価	現状・課題
保護者支援・情報	(1)保護者に対して、丁寧な言葉遣いと、気持ちの良い対応を心掛けてい	B	年度末のアンケートをもとに保護者の意見に寄り添い、保育をするように心がけている。また、今年度から行事の内容の見直しがあったため、その都度、子どもの様子を伝え、保育の共有をするようにした
	(2)保護者に子どもの伸びているところや課題を伝え、連携をとっている	B	
	(3)様々な園行事を通して保護者との良好な関係を築こうとしている	B	
	(4)園だより、ドキュメンテーション、きっずノート、ホームページ等を通して、 保育内容や子どもの姿や保護者への情報を発信している	A	
	(5)子どもの個人記録は、個人情報保護法に基づいて管理している	A	
	(6)職員に、園内で知り得た事柄に対しての守秘義務を周知徹底している	A	

開かれた保育園	(1)小学校と連携し、情報交換をする機会を待つ	A	幼保連携以外にも、こちらから積極的に就学する先の小学校に連絡をとるようにしている
	(2)気になる子どもの対応について、外部の専門機関と連携をとりながら 対応している	A	

子育て支援	(1)地域で子育てをしている親子の交流の場となるように努めている	B	今年度から法人での子育て支援が始まり当園の職員も参加している。保護者の悩みを共有するようにし、入園に際しての悩みなど理解し寄り添うようにしていきたい。
	(2)子どもの心身の発達や育児不安について気軽に相談できるように 努めている	C	
	(3)園生活の子どもの様子を地域にも発信している	D	

総合的な現状と課題

ディリープログラムの見直しをし、こういう保育でなけらばならないという型にはまった保育から、子どもの成長とともに寄り添う保育を発信している。職員の受け止め方も様々で、楽しく保育する職員もいるが、難しく考えてしまう職員もいる。まずは法人の考えを話すことで職員間が共有し、より良い保育環境につながるので、誰でも保育を話せる職員室になるようになるようになることが課題である。

子どもの権利条約についての研修を行い、日々の保育を振り返り考える機会をもっと増やしていきたい。

園　名　　中央ヴィラこども園　　氏名　　甲斐　　千沙